

科目ナンバリング		U-LAS51 10008 SB48							
授業科目名 <英訳>		テストテイキングⅠ(全・英)-E3 Test Taking I (All Faculties, English)-E3			担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 水野 直子		
群	キャリア形成科目群		分野(分類)	国際コミュニケーション		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	金2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>留学するためにスコア提出が課されるIELTS(International English Language Testing System)やTOEFL(Test of English as a Foreign Language)iBTでは大学での講義、研究、生活に関する問題が出題される。本講義では、IELTSのセクション(リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング)全般を学習し、特にIELTSテスト形式のスピーキング、ライティング力の強化に注力する。本科目はTOEFL iBTの新形式の問題形式も紹介しつつ、IELTS、TOEFLiBTそれぞれのセクションの出題形式の理解を深めながら、自律的な学習を通じて、英語運用能力の向上を図っていく。</p>									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学術的な文章を速読し、理解、要約(パラフレーズ)できるようになる。</li> <li>・ リスニングのスピードに慣れ、意味が把握できるようになる。</li> <li>・ スピーキングは、自分の意見を論理的に伝えることができるようになる。</li> <li>・ ライティングは、制限時間内にパラグラフ構成を考え、論述することができるようになる。</li> <li>・ 各セクションの不得意分野について振り返り、効果的な学習計画を立てることができるようになる。</li> </ul>									
【授業計画と内容】									
< 授業内容 >									
1. 予習範囲の確認									
2. 学習範囲の講義、問題の解説									
3. 問題文章の要約アウトプット(ライティング・スピーキング)・ワーク									
4. 問題文章の要約アウトプット・ワークの発表、ディスカッション									
< 授業計画 >									
第1週	ガイダンス IELTStoEFLiBTについて								
第2週	Listening								
第3週	Reading								
第4週	Speaking Part1								
第5週	Speaking Part2								
第6週	Speaking Part3								
第7週	Writing Task I								
第8週	Writing Task II								
第9週	Speaking テスト形式課題(1)								
第10週	Writing テスト形式課題(1)								
第11週	Speaking テスト形式課題(2)								
第12週	Writing テスト形式課題(2)								
第13週	Speaking テスト形式課題(3)								
第14週	Writing テスト形式課題(3)								
第15週	定期試験								
----- テストテイキングⅠ(全・英)-E3(2)へ続く -----									

テストテイキングⅠ（全・英）-E3(2)

第16週 フィードバック

**【履修要件】**

特になし

**【成績評価の方法・観点】**

期末試験 30%

スピーキング（プレゼンテーション）課題 25%

ライティング課題 25%

参加度 20%

を総合して判断する。

5回以上欠席した場合には、成績評価の対象としません。なお、遅刻は欠席に準じた扱いとします。

**【教科書】**

ケビン・ダン 『スコアに直結！IELTS徹底対策テキスト&問題集』（ナツメ社, 2015）ISBN:978-4816358685

**【参考書等】**

（参考書）

授業中に紹介する

**【授業外学修（予習・復習）等】**

テキストの予習範囲の単語の意味確認と問題を解いておくこと。

**【その他（オフィスアワー等）】**

コンピューター受験の場合、ライティングは試験会場のパソコンで解答します。授業時のライティング課題では制限時間を設けて、LMSに提出する予定です。タイピング・スピードが速くなるよう、練習することを推奨します。

**【主要授業科目（学部・学科名）】**